
「脳動脈瘤の病態進展破裂への内服治療の寄与の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で脳動脈瘤の治療を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2007年4月1日から2024年3月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診、未破裂脳動脈瘤ないし脳動脈瘤の破裂によるくも膜下出血と診断され治療を受けた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

脳動脈瘤の破裂で起こるくも膜下出血は重篤な病気ですが、脳動脈瘤の形成や破裂を引き起こすメカニズムには不明な点が多く、薬物治療も確立できていません。そこで、患者さんのカルテから脳動脈瘤の形成や破裂に関与すると考えられる情報を見つけ出し、メカニズムの解明や薬物治療の確立につなげることが目的です。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から約1か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

2007年4月1日から2024年3月31日までに埼玉医科大学国際医療センターで治療を受けた未破裂脳動脈瘤、ないし脳動脈瘤の破裂によるくも膜下出血の患者さんについて、年齢、性別、受診時の病歴、既往歴、内服歴、嗜好品、来院時の全身状態、血液検査や画像検査の結果、治療の経過、退院時の状態について電子カルテ閲覧により情報を取得します。

また、バイオバンクジャパン（外部組織）から脳動脈瘤およびくも膜下出血症例（第一コホートは2003年～2013年、第二コホートは2013年～2018年）の病名および内服歴情報の提供を受け解析します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である栢原智道が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

未破裂脳動脈瘤ないし脳動脈瘤の破裂によるくも膜下出血と診断された患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科 栢原 智道（研究代表者）
- ・東京慈恵会医科大学 薬理学講座 青木 友浩

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科 栢原智道

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8:30～17:30）

○研究課題名：脳動脈瘤の病態進展破裂への内服治療の寄与の検討

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科 栢原智道